

:: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 平成30年8月3日

1 基本事項	
公の施設の名称	橋本駅北口第1自転車駐車場ほか5施設
指定管理者の名称	緑区市営駐車場運営共同企業体
指定期間	平成27年4月1日～平成32年3月31日
施設設置条例の名称	相模原市営自転車駐車場条例、相模原市営自転車駐車場条例施行規則 相模原市営自動車駐車場条例、相模原市営自動車駐車場条例施行規則
施設の設置目的	自転車駐車場: 駅周辺における自転車及び原動機付自転車の駐車秩序を確立し、自転車及び原動機付自転車を利用する者の利便を図る。 自動車駐車場: 中心市街地の道路の円滑化を図り、市民の利便に資するとともに、都市機能の維持及び増進に寄与する。
施設概要	橋本駅北口第1自転車駐車場・橋本駅北口第2自転車駐車場 橋本駅南口第1自転車駐車場・橋本駅南口第2自転車駐車場 橋本駅北口第1自動車駐車場・橋本駅北口第2自動車駐車場
施設所管課の名称	都市建設局 まちづくり事業部 都市整備課

2 管理実績						
自転車駐車場						
項目(単位)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
利用者数合計(台)	2,547,439	2,514,284	2,455,631	2,414,476		
利用料金合計(円)	163,548,580	163,862,590	160,140,810	158,249,160		
利用率(%)	101.0	100.3	100.9	100.9		
自動車駐車場						
項目(単位)	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
利用者数合計(台)	1,060,567	1,096,679	1,084,530	1,070,001		
利用料金合計(円)	436,391,060	454,212,000	420,164,250	424,654,040		
修正回転率	3.47	3.58	3.32	3.34		

利用者数合計は年間利用延べ台数(二輪自動車は除く)

修正回転率(1日1駐車スペース当たりの駐車時間)

= 単純回転率(1日1駐車スペース当たりの回転率) × 平均駐車時間(1日1台当たりの駐車時間)

3 成果指標の達成度	
自転車駐車場	
指標名(単位)	自転車駐車場利用率(%)
指標式と指標の説明	(自転車及び125cc以下バイク利用許可台数) ÷ 自転車駐車場収容台数

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値(単位)	107.0	101.9	102.0	102.0			
実績値(単位)	101.0	100.3	100.9	100.9			
達成度(%)	94.4%	98.4%	98.9%	98.9%			

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

自動車駐車場	
指標名(単位)	年間利用台数(二輪自動車を除く)
指標式と指標の説明	年間利用台数を目標とし運営状況を確認する

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
目標値(単位)	1,006,000	990,000	991,000	991,000			
実績値(単位)	1,060,567	1,096,679	1,084,530	1,070,001			
達成度(%)	105.4	110.8	109.4%	108.0%			

施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。

4 評価		
指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	A	自転車駐車場の達成度が98.9%、自動車駐車場が108.0%である。
事業・業務の履行状況	S	事業・業務は適正に履行されている。
利用者満足度の向上度	S	利用者満足度調査においては総合的に満足との回答が92.2%であり、目標値80%を上回っている(達成度は115%)。満足との回答を個別に評価すると、接遇は98.0%、施設の管理状態については95.2%、施設の使い易さ・わかり易さについては85.8%である。
財務状況の適正性	B	予算の執行状況については、年間執行額において不足ではあるが、本社等から繰入れをしており、特段の課題は無い。

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

- モニタリング基礎シート(様式1)における“評価”の内容について、次の基準により評価する。  
 S:全ての評価項目に「A」または「B」がつき、「C」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。  
 A:全ての評価項目に「A」または「B」つき、「C」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。  
 B:全ての評価項目が「C」である。  
 C:「A」と「B」のどちらもつかない項目が1つある。  
 D:「A」と「B」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

- 主な指標と目標値(参考資料2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。  
 S:当該年度の達成度が110%以上  
 A:当該年度の達成度が100%以上110%未満  
 B:当該年度の達成度が90%以上100%未満  
 C:当該年度の達成度が80%以上90%未満  
 D:当該年度の達成度が80%未満

【財務状況の適正性】の評価基準

- 予算の執行状況表(様式2)の内容について、次の基準により評価する。  
 S:評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合  
 A:評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合  
 B:評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合  
 C:評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合  
 D:評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行って(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合  
 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価

コメント	<p>緑区グループの橋本駅周辺地区は市内において重要な交通の拠点となっており、3区の中で最も自転車駐車場の利用率が高いが、利用者のニーズを把握し、大型チャイルドシート付自転車収容場所の確保に引き続き努めている点は評価できる。また、駐車場利用者からの駐車場所が分かりにくいのご意見に対しイラストを使った場所表示で改善を図った点、歩行者から自転車利用者マナー向上の要望に対し、周辺地域と連携して改善に取り組んだ点は評価できる。</p> <p>また、自転車盗難件数の削減を図るため、マナー啓発活動を継続して行うなど、引き続き盗難件数の減少に努めたことについても評価できる。</p> <p>自転車駐車場についても、H26年10月からミウヰ橋本の地下に食料品店が新規オープンしたことで駐車場利用者が大幅に増加したがH28年度以降は落ち着いてきており、特に大きな事故やトラブルも無く、円滑な管理運営が図られている。橋本駅北口第1自転車駐車場においては、暗いと指摘された連絡通路の照明をLED化し、利用者の要望に沿った駐車場運営をしていること、また、橋本七夕まつりなど地域貢献活動に積極的に参加している点も評価できる。</p> <p>H27年度より自転車・自転車駐車場の管理運営を構成企業でそれぞれを担当しているが、今後構成企業間での連絡体制をより密に行うこと、また、再委託をする際には最低賃金を遵守するよう、引き続きご配慮いただきたい。</p>
------	--

6 指定管理者選考委員会による評価

評価実施日	平成30年8月3日
コメント	<p>緑区は3区の中で最も自転車駐車場の利用率が高く、収容に苦慮する中、デッドスペースなどの有効活用を行い、収容台数の確保等に努めている点や利用者のニーズに合わせた大型チャイルドシート付き自転車等、スペースを確保している点は評価できる。</p> <p>自転車駐車場については、限られたスペースに多くの収容台数を有する橋本駅北口第1自転車駐車場や、隣接する商業施設が魅力化に取り組んでいる橋本駅北口第2自転車駐車場があるが、大きな事故やトラブルも無く円滑な管理運営が図られており、橋本七夕まつりなど地域貢献活動に積極的に参加している点は評価できる。</p> <p>また、自転車駐車場、自転車駐車場共に利用者の要望や指摘に応じた駐車場運営をしている点も評価できる。</p> <p>今後は、年々減少傾向にある利用率を改善するため、利用者の意見を反映させる等、魅力ある施設としての管理運営を行うと共に、構成企業間での連絡体制を密に、管理運営に活かせる体制を確立していただきたい。</p>